

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】**

堺市立東浅香山小学校  
校長 松山 紀美代

中学校区におけるめざす子ども像  
自分の目標とゆめをもち、互いの個性を認め合える（豊かな心）

令和7年度 重点目標  
学校教育目標「一人ひとりがかがやく学校づくり」に向けて、校訓である「よく考え 協力して やりぬく子」の育成を目指し、「未来を切り拓く力としての総合的な学力および豊かな心と健やかな体の育成」「安全・安心な学びの場づくりと学校力の向上」「学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進」に取り組む。

「確かな学び」の現状	「豊かな心・健やかな体」の現状
<ul style="list-style-type: none"><li>子どもたちに学習規律の定着を図るため「東浅香山スタンダード」の取組を進め、一定の成果は見られるが、チャイム着席や集中力という点においては課題が見られる。教職員で共通して「東浅香山スタンダード」のより一層の徹底を推進していく必要性がある。</li><li>「自主学習ノート」の取組では、学年や個に応じた活用が広がり、工夫されたノートが増えてきている。</li><li>わかりやすい授業をめざした授業のユニバーサルデザインの取組を学校全体で推進することによって、学習の定着や理解についての成果があらわれている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学校の決まりや「東浅香山10の約束」の徹底および交流タイムの取組を通して、規範意識の向上や自尊感情の醸成はみられる。引き続き、教職員でルールや決まりに関する共通理解を図っていく。</li><li>あいさつに関しては、声掛けをすると返す子どもは多いが、自主的に進んで気持ちのよいあいさつができるよう、取組をすすめていく。</li><li>ゴーゴーランニングや長縄跳びなど運動に関する取組を通して、楽しみながら体力向上を図ることができている。</li></ul>

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況（年度末）			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	教科学力の向上	基礎基本の確実な定着を図るとともに、課題をつかみ考え抜く授業を展開する。	めあてをもって学習する姿勢を徹底するとともに、繰り返し学習することによって、基礎基本の確実な定着を図る。	めあてをもち、問題解決のできる授業が増え、定着度テスト等で基礎基本の定着が見られる。	定着度テスト 学力調査等	毎月 5月	○	校内研修及び計画的な研究授業の実施で授業力の向上に努めている。			
			考えを説明・交流する力、学んだことを活用する力を育成できる指導を工夫する。	考えを相手に伝え、学び合う場面が授業で多く見られ、活用力の高まりも見られる。	学力調査等 学校教育アンケート	5月 12月	○	校内研修及び計画的な研究授業の実施で授業力の向上に努めている。			
	学びの基礎力の向上	学習規律のさらなる定着を図るとともに家庭学習習慣を確立する。	●「学習スタンダード」による学習規律のさらなる徹底を図り、すべての子どもにわかりやすい授業を創造する。	子どもの授業に対する集中度が増し、学ぶ意欲が向上する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	「学習スタンダード」を掲示し、学校全体で学習規律の統一を図っている。			
			全学年で「自主学習ノート」の取組をすすめ、家庭学習習慣を定着させる。	自主学習ノートの取組の定着とともに、家庭学習、読書習慣が身に付く。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	全学年で取組の推進が図られている。			
			タブレットを効果的に活用し、子ども一人ひとりが考える授業を展開する。	多様な方法で情報収集したり、自分の考えを表現したりできる。 活用率で昨年の数値を上回る。	実施状況 学力調査質問紙 CBT調査	随時	○	各クラスにおいて適切かつ効果的なタブレット活用が推進されている。			
	個性と指導	学習支援対策を計画的・継続的に実施し、個に応じたきめ細かな指導を充実する。	●授業のユニバーサルデザインをさらに推進するとともに、一人ひとりの子どもの特性に合わせた指導・支援を充実する。	学習支援対策により、学習の理解や定着が深まり、学力が向上する。	実施状況 学力調査等	随時 5月	○	学習支援対策委員会を中心に子どもの特性等について教職員間で情報共有を図り、個に応じた指導の充実につなげている。			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	豊かな心、思いやりのある心を育成し、いじめがおこらない集団づくりに取り組む。	●「東浅香山小学校10の約束」の徹底に向けた子どもの意識が高まる取組により、さらに規範意識の醸成を図る。	校内の様々な目標やルールを守ろうとする意識が高揚し、静謐な学習環境が整う。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	全教職員で同じ方向を向いた指導を行っている。			
			★あいさつの徹底、感謝の気持ちをもつことができる指導などを通して、思いやりのある心を育て、いじめがおこらない指導を徹底する。	子ども一人ひとりの自尊感情が高揚するとともに、いじめがおこらない集団となる。	実施状況 いじめアンケート	随時 毎学期	○	校長が毎朝正門に立ちあいさつを行うとともに、朝礼の講話において自尊感情の高まりにつながる内容を伝えている。			
		学校が楽しいと思う子どもが増えるような体制づくりに取り組む。	★すべての子どもの対応について、家庭との連携を図るとともに組織的な体制で取り組み、スクールカウンセラーや関係機関とも連携し、改善に導く。	学校生活が楽しいと感じる子どもが増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	会議等で子ども対応の内容の共有を図り、組織的対応を実践するとともに、必要に応じて関係機関と連携している。			
		縦割り活動等によるリーダーの養成と仲間意識を醸成する。	●交流タイム等を通して、集団の一員としての意識を高めるとともに、それぞれの役割を意識し、自尊感情を高める取組を推進する。	縦割り活動を通して、高学年はリーダーとしての意識が高まり、校内全体で友達のよさを認めることができる。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	交流タイムにおいて高学年のリーダー意識が高まっている。			
	健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させるとともに、体力の礎となる健康教育・食育を充実させる。	ランニング等の継続した取組により、運動の楽しさを実感させるとともに体力向上の推進を図る。	運動することが楽しいと思う子どもが増え、体力が向上する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	体育的行事等を通じて、体力向上を図っている。			
			基本的な生活習慣を確立するとともに、家庭の意識が向上する健康教育・食育をより推進する。	朝食をとる、質のよい睡眠をとる子どもが増えるなど、基本的な生活習慣が確立する。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	保健だよりを通じて、健康教育について家庭への啓発活動を行っている。			
	地域協働	学校力のさらなる向上をめざすとともに、学校・家庭・地域の協働によるひろがる教育を推進する。	学校HPや校報、毎月の自治会定例会等で積極的に学校の方針や日々の教育活動を発信する。また、登下校の見守り活動をはじめ、校区での安全・健全育成に地域と協働して取り組む。	学校の教育方針・教育活動に対する理解が深まる保護者が増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	学校課業日には毎日HPを更新するとともに、校報においても教育活動を保護者・地域へ発信している。			
			保幼小、中学校、学校群など縦・横につながる教育活動の推進を図る。	わくわく広場の実施および学校群での情報共有や合同研修の実施。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月	○	学校群での合同研修やこども園との交流を実施している。			

校長より（年度末）	学校関係者評価者から（年度末）
-----------	-----------------